

緑のボランティア通信

2023.4.1

No.84

令和5年度の主な事業紹介をします

公益財団法人川崎市公園緑地協会は、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進するため、緑の活動を支援、育成及び普及啓発を行うボランティアセンターとしての機能を有した緑の拠点として、様々な事業を行っております。

緑のボランティア活動支援事業

花と緑のまちづくりを進めるため、地域の身近な緑を増やしたり、残された大切な緑を守るボランティアと団体を支援します。

①「緑の活動団体」助成事業

公開性の高い場所で植樹、花壇づくり、プランター等により緑化を行い、年間を通じて維持管理を行う団体や下草刈等の緑地保全活動を行う団体を緑の活動団体として登録し活動に係る費用の一部や、情報提供等の支援を行います。

②ボランティア通信の発行

緑のボランティアへの情報提供と連絡協調を図るとともに、広く市民に活動状況を知らせ、活動への新たな参加や新規団体の登録拡充を図ります。(年7回)

③交流事業の開催

市内緑地の保全や緑化の推進にかかわる団体が、日ごろの活動の成果を広く市民に発表するとともに、これらの人々の交流を深めること等を目的に開催します。今年度は協会職員が各団体の活動場所に赴く「協会の現地訪問」を行い、その様子は緑のボランティア通信特別号で報告し紙面での交流を深めます。(年2回)

④その他

緑の活動団体を対象にした寄せ植え講習会、出前講座、道具や図書の貸し出し、緑の人材バンクへの登録と活用などに取り組みます。



緑化推進・普及啓発事業



①緑地保全事業

特別緑地保全地区・緑地保全協定地・保存樹林等、市と管理協定を締結している所有者の方々に管理費の一部を助成します。

②緑化推進事業

市内で新たに「生垣づくり」及び「屋上・壁面緑化」を行う方に費用の一部を助成します。また、市内で新たに「駐車場緑化」を行う方に樹木を助成します。

③思い出記念樹「樹繫 (きづな)」

出生、入園、入学、成人、結婚、賀寿、市外からの転入(新市民)など、人生の大切な思い出の記念に希望される方へ苗木を差し上げます。(受付：通年 配布：5月・10月)

目次

| | |
|-----------------------|---|
| 令和5年度の主な事業紹介 | 1 |
| 令和5年度の主な事業紹介のつづき／お知らせ | 2 |
| 活動団体訪問・自己紹介コーナー | 3 |
| いそろう植物のヒトリゴト | 4 |



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

緑のボランティア育成事業

川崎市の魅力ある“花と緑のまちづくり”を目的として、市政の状況を広報し市民との協働によるパートナーシップ型事業を行います。

①かわさきの森づくり（里山ボランティア育成講座）

里山の自然環境や管理手法を学習し、市内の様々な緑地で実技研修を行うことにより、里山活動の活性化と実際に活動を開始するボランティアを育成します。

（実践編 13回・講義編 2回）



②こども黄緑クラブ（こども自然体験教室）

楽しみながら四季の自然に親しみ、川崎の緑に関心を寄せてもらうことで次世代の担い手を育成します。更にこどもだけでなく、大人向けの講座も開催します。

（年 12回）



③花と緑のまちづくり講座（緑化推進リーダー育成講座）

市民による自主的な緑化推進活動の中心的人材の育成を目的に、花壇などの基礎的な知識を実技も交えて学ぶ講座を開催します。（全 6回）



④花壇ボランティア実践講座

「③花と緑のまちづくり講座」卒業生を対象に、さらなるスキルアップを目的として開催します。（全 6回）



⑤たねダンゴ実践講座

「たねダンゴ」とは土の中に肥料を入れたダンゴに「たね」をつけて植え付ける緑化手法です。講座では、専門家を講師に招き、たねダンゴで花壇をつくる「実践講座」と、生育状況を観察しながら花壇の管理作業を行う「お手入れワークショップ」を、夏編（春～夏）・冬編（秋～冬）に分けてそれぞれ開催しています。



わがまち花と緑のコンクール事業

市内の花と緑の美しい景観を発掘し、それを創り出している方々の紹介を目的に実施しています。応募締め切りは4月14日。市民による運営委員で現地調査や選考委員会を行い、中原市民館にて6月24日に表彰式を開催します。表彰式はどなたでも参加でき、会場では全応募作品の展示、記念講演、花苗のプレゼントもあり、市内の素敵な景観を見ながら緑のまちづくりの交流を深めます。



お知らせ

「緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー」の掲載団体募集しています!!

本誌では、3ページ目の「緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー」掲載団体を募集しています。

設立〇周年の記念や、活動をもっとアピールしたい等とお思いの方は是非当協会までご連絡ください。

王禅寺公園愛護会 (2020年登録)

活動場所 王禅寺公園 (麻生区王禅寺西3丁目28-1)

交通案内 川崎市営バス及び小田急バス「王禅寺公園」下車すぐ



当会は王禅寺公園で活動をしています。主な活動は公園外周の道路の落ち葉・枝木の回収や、バス通り側の斜面のサツキ・椿の剪定、そして両者の枝木に絡むクズの蔦の除去を行っています。さらに、公園内外の舗装道路及び山道に散在している枯葉をビニール袋に収集し、倉庫の裏側に設置した木枠内に集め、定期的に水で湿気を与えて腐葉土を作る試みを開始しました。

次に、活動場所の王禅寺公園をご紹介します。バス通り側の入口を入り、緩やかな舗装道路を下って、コンクリートのモニュメントが見える所の左側の山道に入ります、そこから落葉が積



もって歩きやすい山道に入って落葉を踏みしめて歩くと尾根に出ます。尾根道の右側の山道を歩くと丹沢の山々が見渡せる所に出ます。1月中旬ごろには山頂に雪を頂いた富士山を展望できます。下りの山道をゆっくりと下ると、左側に山百合保存地区があり、開花の時期には美しい山百合を鑑賞できます。

(長畑/高倉)

こすぎ公園管理運営協議会 (2018年設立)

活動場所 こすぎ公園 (中原区小杉町2丁目295-3)

交通案内 東急東横線「新丸子駅」下車徒歩6分/JR南武線「武蔵小杉駅」下車徒歩7分



「こすぎ公園」は小杉地区再開発事業の一環として出来た公園です。新丸子駅・武蔵小杉駅から6～7分と近く広さが約3000㎡あり、近隣住民のいこいの場所として最適だと思っています。この公園は緑地というよりも、こども達の良い遊び場です。公園内は2つに分かれ、



一方は遊具のある小さなこども達の遊び場、他方は球技の練習等ができるこどもから大人も利用する広場となっています。また、災害時には避難場所としても利用でき、平日は近隣の保育園の利用が多い



と思います。先述のとおり、駅に近いところにあるこの公園は近隣住民が安心安全に利用できるため、他からも利用申込みがあり、徐々に名前が広がってきています。地域にとって非常に有意義な公園であると感じています。



私たち協議会の主な活動は、毎月1回の除草、清掃、周囲の点検等で、行政との協議も常時行っています。活動で大変なことは、夏は日陰が無いので日除けが欲しいことと、作業を行うわれわれが高齢化のため力仕事は困難であることで、行政に協力をお願いしているのが現状です。そして、どうすれば世代交代ができるかが今後の課題です。

(野村 進)

いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。

たねの形から
へんな名前を付けられ
ちゃったんだ。でもね、
小さな青い花に注目して！
「星の瞳」とも呼ばれて
いるんだよ！
すてきでしょ？

01 「オオイヌノフグリ」

(オオバコ科・クワガタソウ属)

Veronica persica

ユーラシア、アフリカ原産の2年草。明治の初期に日本へ入り、現在では全国的に広がっている。名前の由来は、日本に古来より生育している植物のイヌノフグリによく似ていてイヌノフグリより大きいことから、その名で呼ばれるようになったとされる。イヌノフグリとは、種の形が雄犬のフグリ（陰囊）に似ているためと考えられている。3～5月に1cm程度の小さな瑠璃色の花をつけることから、「星の瞳」という別名を持つ。

ホトケノザってきくと、
「春の七草」だ～って言われ
るんだよな。でも、本当は
赤の他人。食べられないんだ。
それでも食べたいって？
だったら、花を吸ってみて。
あま～いみつが
出てくるよ。

02 「ホトケノザ」

(シソ科・オドリコソウ属)

Laminum amplexicaule

本州から沖縄にかけて、畑や道ばたに普通に生える高さ10～30cmの2年草。葉の形が仏様の台座（蓮座）に見えることから、その名が付いたとされている。春の七草にある「ホトケノザ」とは、キク科のコオニタビラコを指しており、昔は、貴重な栄養源だったと考えられている。ホトケノザは毒性が強いわけではないが食用には向いていない。花は根元を吸うと、甘い蜜が楽しめる。開花は3～6月とされるが、日当たりの良い場所では通年花を咲かせている。

ペンネーム：きよすけ
(造園家・植物研究家)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりに使ってしまっていますが、そんな“いそろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援係

〒211-0052 川崎市中原区等々力3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>